

決算説明会資料

～2013年3月期 第1四半期～

説明会開催予定日
2012年8月2日(木)

日本ハム株式会社

目次

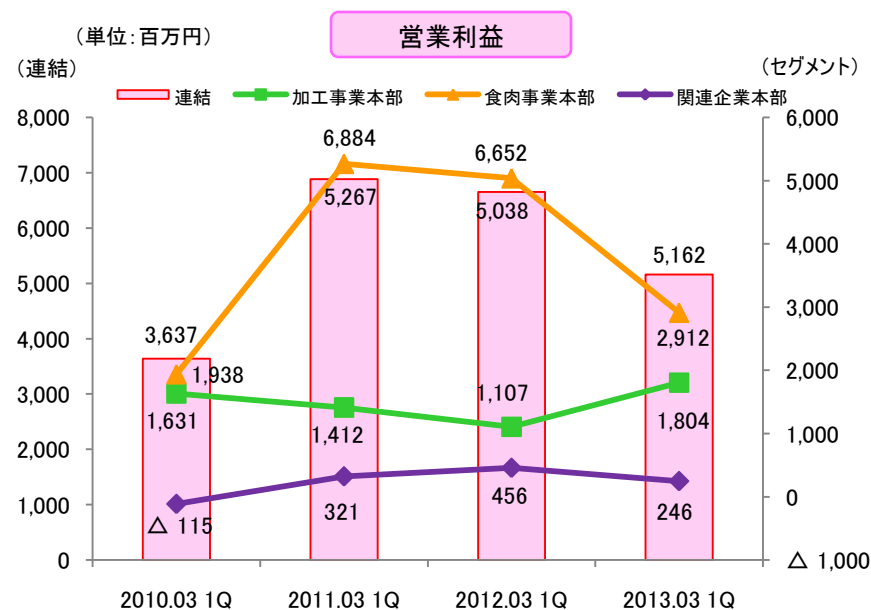
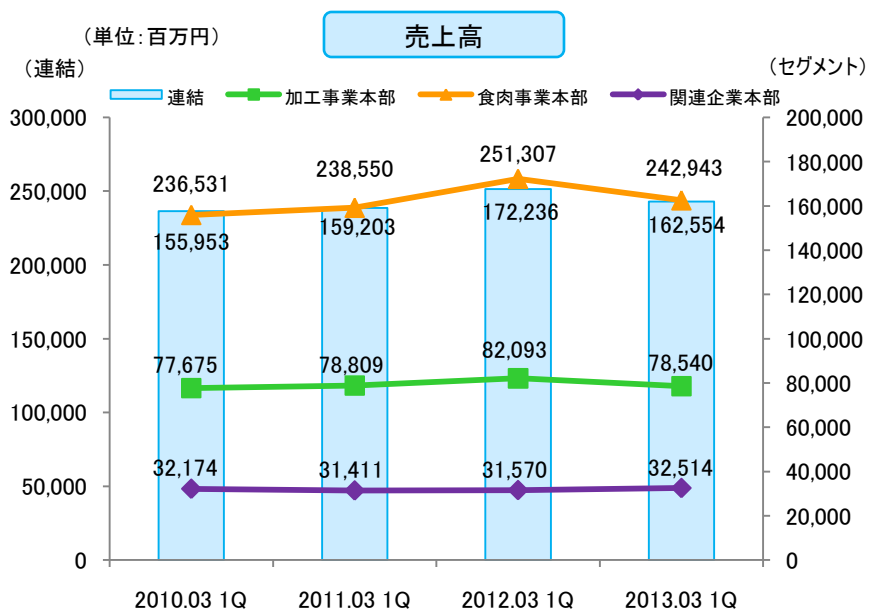
- I . 2013年3月期 第1四半期連結業績の総括
- II . 2013年3月期の計画
- III . 2013年3月期 第1四半期財務データ

I . 2013年3月期 第1四半期連結業績の総括

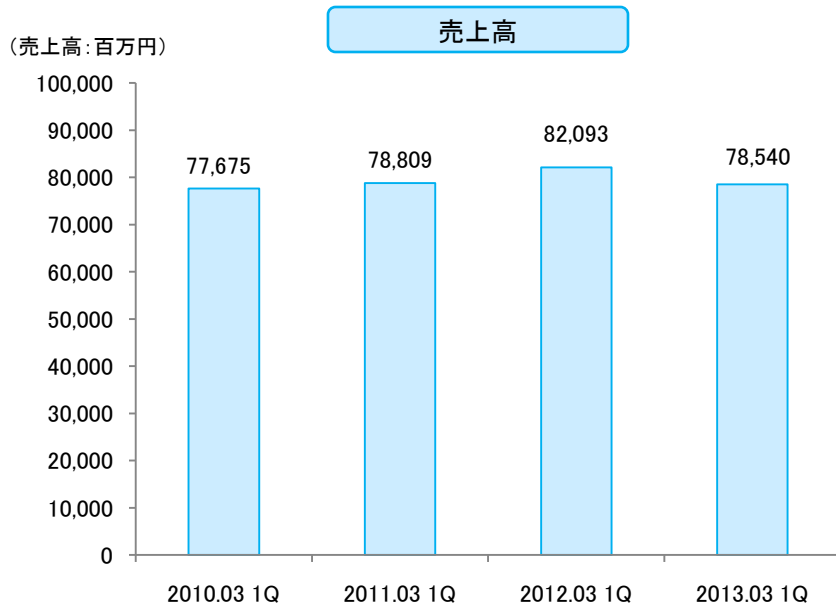
1. オペレーティング・セグメント情報 第1四半期
2. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
3. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
4. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
5. 海外 主要所在地別業績実績

(単位: 百万円)

		2010.03 1Q	2011.03 1Q	2012.03 1Q	2013.03 1Q
加工事業本部	売上高	77,675	78,809	82,093	78,540
	営業利益	1,631	1,412	1,107	1,804
食肉事業本部	売上高	155,953	159,203	172,236	162,554
	営業利益	1,938	5,267	5,038	2,912
関連企業本部	売上高	32,174	31,411	31,570	32,514
	営業利益	△ 115	321	456	246
消去調整他	売上高	△ 29,271	△ 30,873	△ 34,592	△ 30,665
	営業利益	183	△ 116	51	200
連結合計	売上高	236,531	238,550	251,307	242,943
	営業利益	3,637	6,884	6,652	5,162

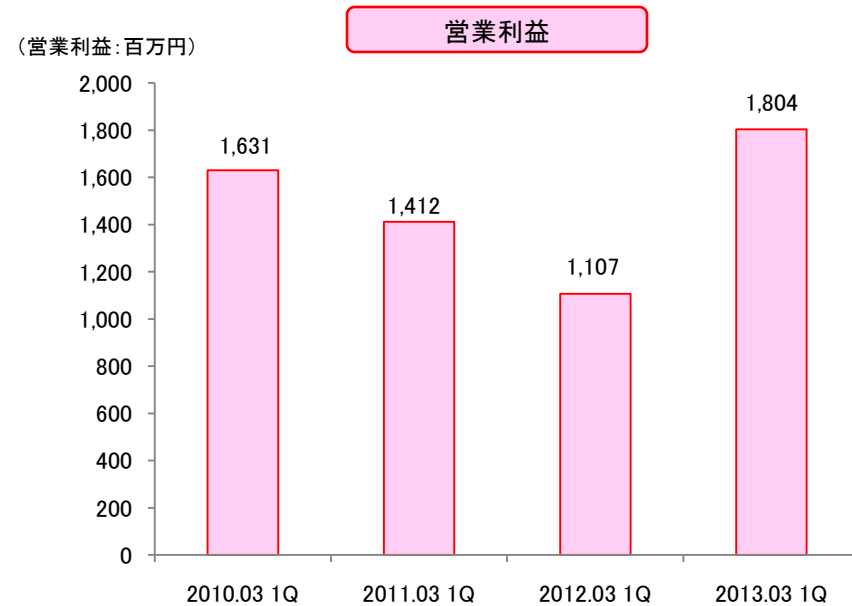


※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P17の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。



(単位: 百万円)

	2012.03 1Q	2013.03 1Q	前年差	前年比(%)
売上高	82,093	78,540	△ 3,553	△ 4.3



(単位: 百万円)

	2012.03 1Q	2013.03 1Q	前年差	前年比(%)
営業利益	1,107	1,804	697	63.0
営業利益率	1.3%	2.3%	-	-

【第1四半期の売上状況】

- ・ハム・ソーセージは、主力のシャウエッセン、彩りキッチンにおいて、TVCMの効果もあり数量、金額とも伸長。
- ・加工食品は昨年の特需需要の反動もあり、数量、金額ともに前年割れ。しかし6月に入り回復傾向。

【第1四半期の収支状況】

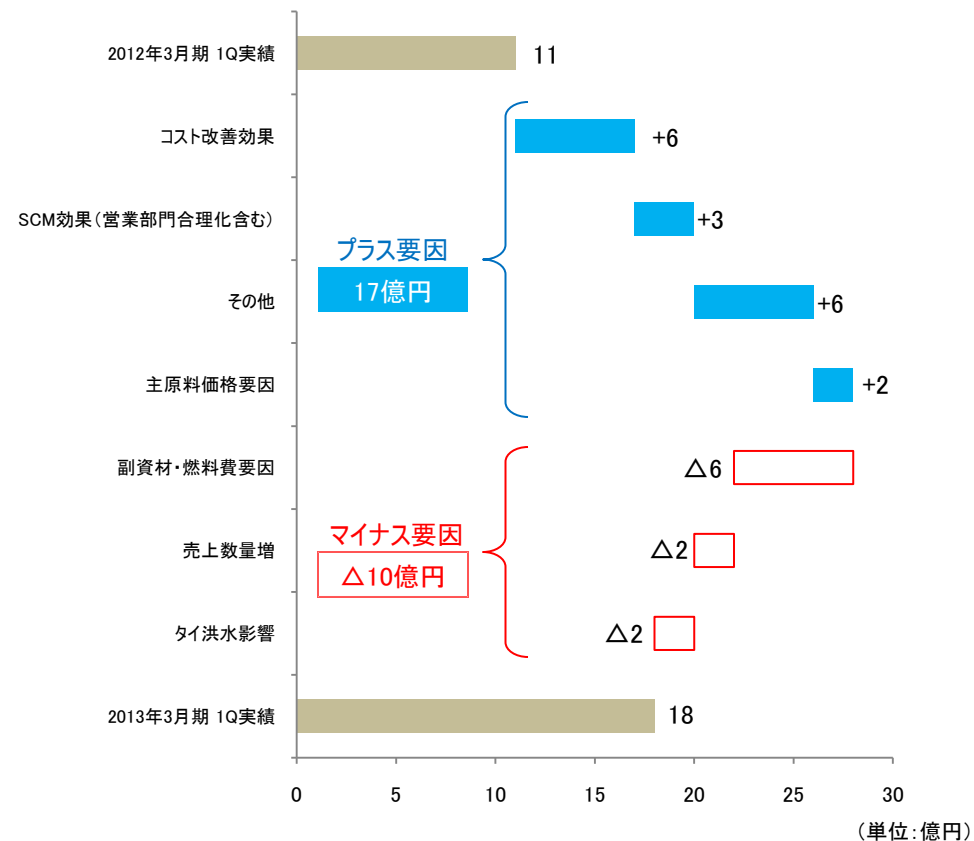
- ・主力商品のシャウエッセンの数量伸長により、増益に貢献。
- ・副資材、燃料等の高騰をコストダウン効果でカバー。

【営業利益増減要因分析】

	2013.03 1Q		
	1Q 計画	1Q 実績	計画 差異
コスト改善効果	6億円	6億円	0億円
SCM効果(営業部門合理化含む)	1億円	3億円	2億円
主原料・副資材要因			
(内訳)主原料価格	1億円	2億円	1億円
(内訳)副資材・燃料等	△5億円	△6億円	△1億円
売上数量増	2億円	△2億円	△4億円
タイ洪水影響	△3億円	△2億円	1億円
その他	1億円	6億円	5億円
合計	3億円	7億円	4億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります

【1Q営業利益実績の増減要因グラフ】



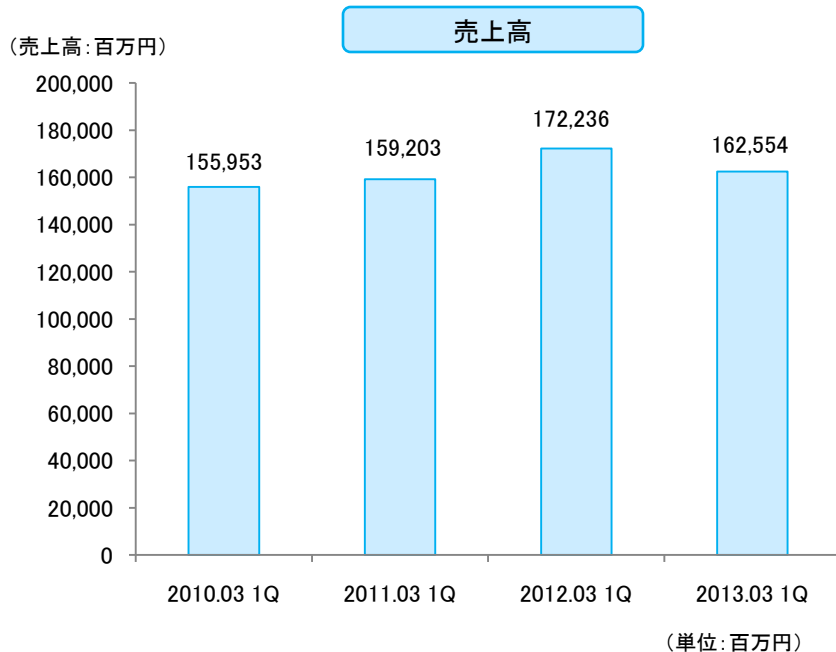
●差異要因分析(1Q)

【売上数量増】

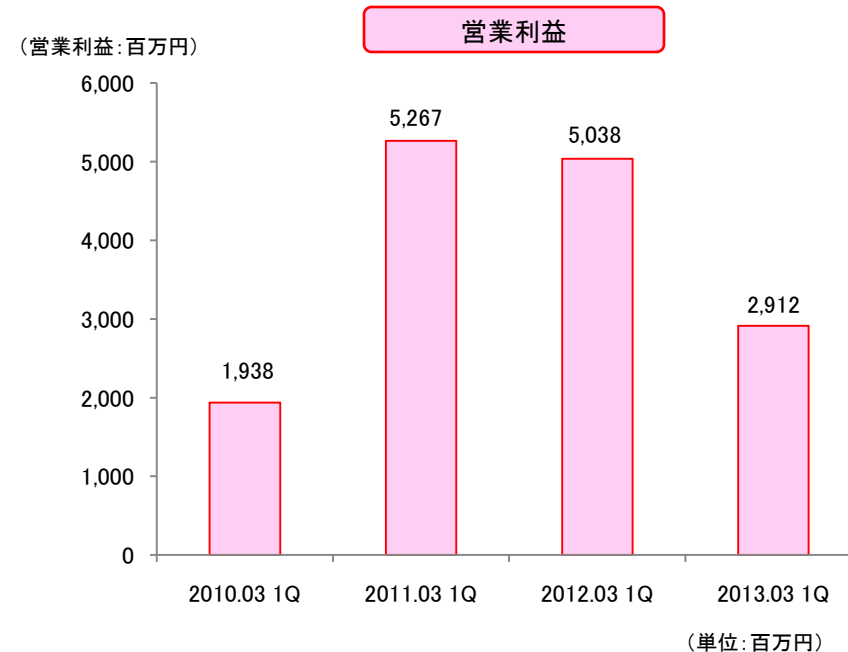
⇒加工食品の数量減で計画を下回った。

【その他要因】

⇒販促費用の削減等(昨年のTVCM前倒し実施の反動)。



	2012.03 1Q	2013.03 1Q	前年差	前年比(%)
売上高	172,236	162,554	△ 9,682	△ 5.6



	2012.03 1Q	2013.03 1Q	前年差	前年比(%)
営業利益	5,038	2,912	△ 2,126	△ 42.2
営業利益率	2.9%	1.8%	-	-

【第1四半期の売上状況】

- ・国内食肉は、数量は伸長したが、主に国産鶏肉の単価下落等により、減収。
- ・海外食肉は主に牛肉の数量、単価ともに下落し、減収。

【第1四半期の収支状況】

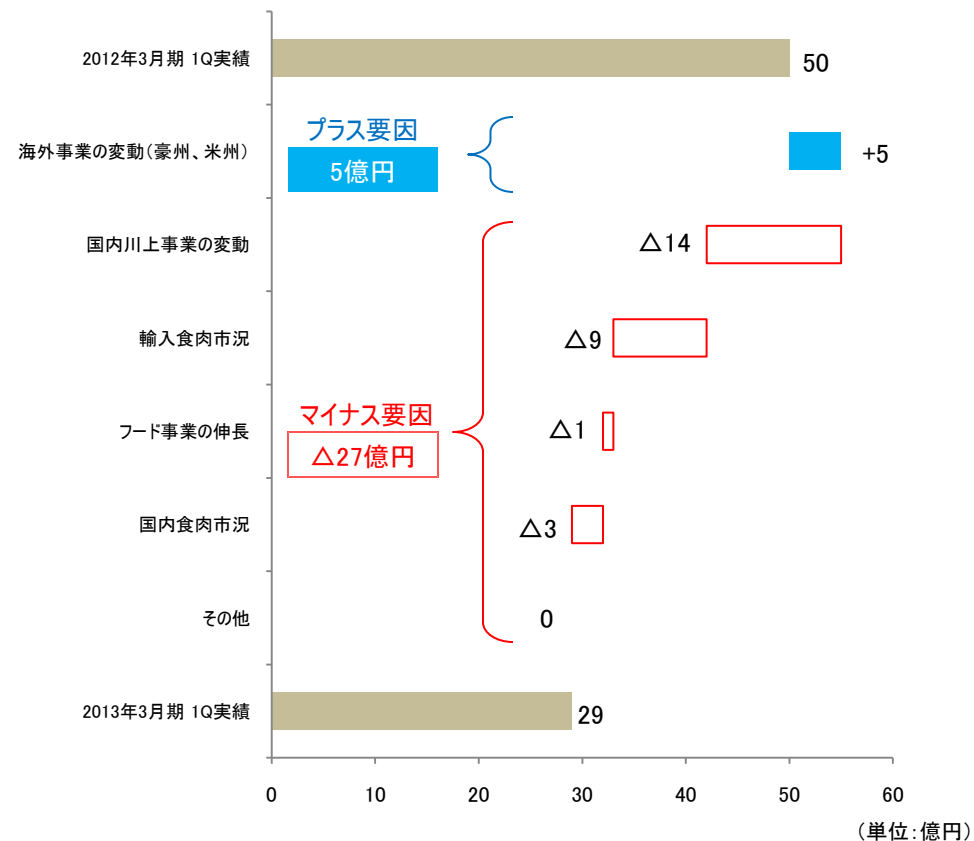
- ・主に、豚・鶏の市況安で国内ファームで減益。
- ・輸入鶏肉の相場は、前期末からは回復傾向だったが前年同期比では大幅な相場安で、減益。

【営業利益増減要因分析】

	2013.03 1Q		
	1Q 計画	1Q 実績	計画 差異
海外事業の変動(豪州、米州)	3億円	5億円	3億円
国内川上事業の変動	△7億円	△14億円	△7億円
輸入食肉市況	△19億円	△9億円	10億円
フード事業の伸長	3億円	△1億円	△4億円
国内食肉市況	△3億円	△3億円	0億円
その他	0億円	0億円	0億円
合計	△23億円	△21億円	2億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります

【1Q営業利益実績の増減要因グラフ】



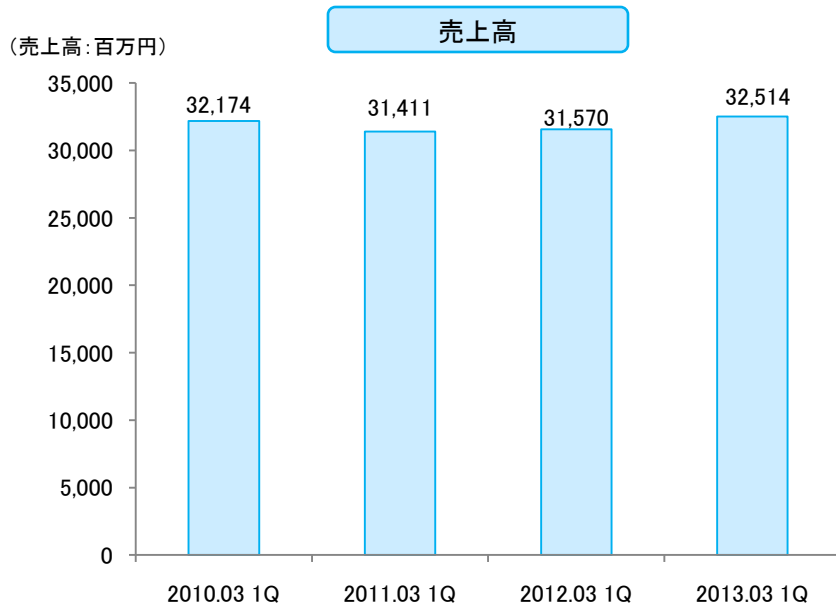
● 差異要因分析(1Q)

【輸入食肉市況の影響】

⇒ 輸入鶏肉は計画よりも相場が改善し、収益は計画を上回った。

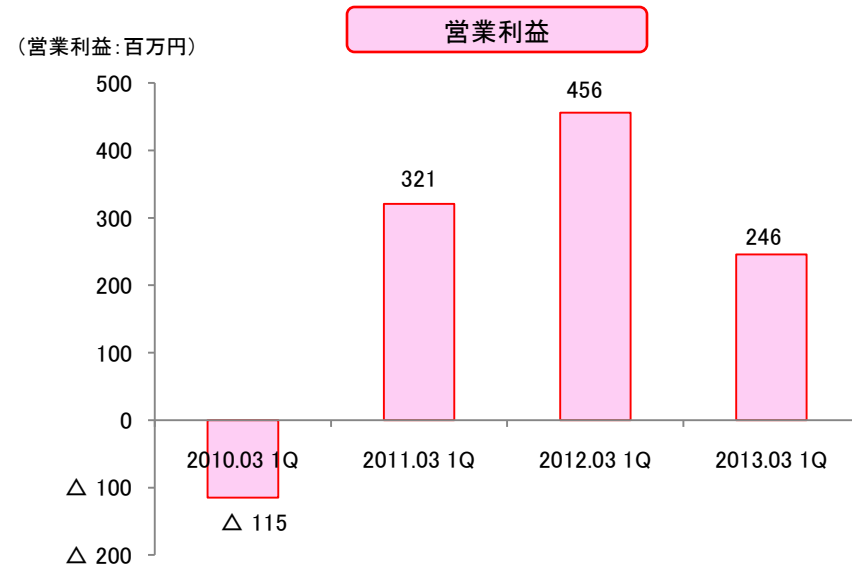
【国内川上事業の影響】

⇒ 豚、鶏は計画よりも市況安となり、収益は計画よりも下回った。



(単位: 百万円)

	2012.03 1Q	2013.03 1Q	前年差	前年比(%)
売上高	31,570	32,514	944	3.0



(単位: 百万円)

	2012.03 1Q	2013.03 1Q	前年差	前年比(%)
営業利益	456	246	△ 210	△ 46.1
営業利益率	1.4%	0.8%	-	-

【第1四半期の売上状況】

(水産事業)

・えび、サーモンなど重点商品の拡販や量販店に対する営業活動を強化したことにより売上が伸長。

(乳製品事業)

・チーズ事業は、食品メーカー向けや量販店チャネル向けの売上が伸長。ヨーグルトについては、CVSチャネル向けのドリンクヨーグルトの販売が好調。

【第1四半期の収支状況】

(水産事業)

・マリンフーズにおいて、一部の魚種の相場下落や、えび、いかの仕入コスト上昇等の影響を受け、利益率が低下。

(乳製品事業)

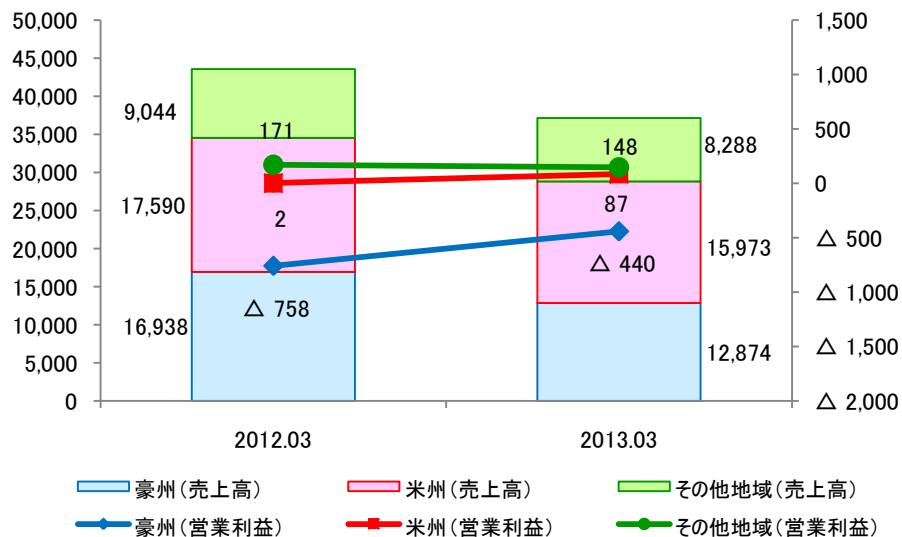
・原料価格が安定する中、全体の売上が好調に推移し、粗利益増加に貢献。

第1四半期実績

(売上高: 百万円)

(営業利益: 百万円)

(単位: 百万円)



		2012.03 1Q	2013.03 1Q	前年差	前年比(%)
海外計	売上高	42,918	36,617	△ 6,301	△ 14.7
	営業利益	△ 589	△ 216	373	-
豪州	売上高	16,938	12,874	△ 4,064	△ 24.0
	営業利益	△ 758	△ 440	318	-
米州	売上高	17,590	15,973	△ 1,617	△ 9.2
	営業利益	2	87	85	-
その他地域	売上高	9,044	8,288	△ 756	△ 8.4
	営業利益	171	148	△ 23	△ 13.5

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません)
 ※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他地域は、アジア、欧州です。

【第1四半期の状況】

(豪州)

・前期まで継続していた生体価格高が今期に入りやや好転し、収益改善。

(米州)

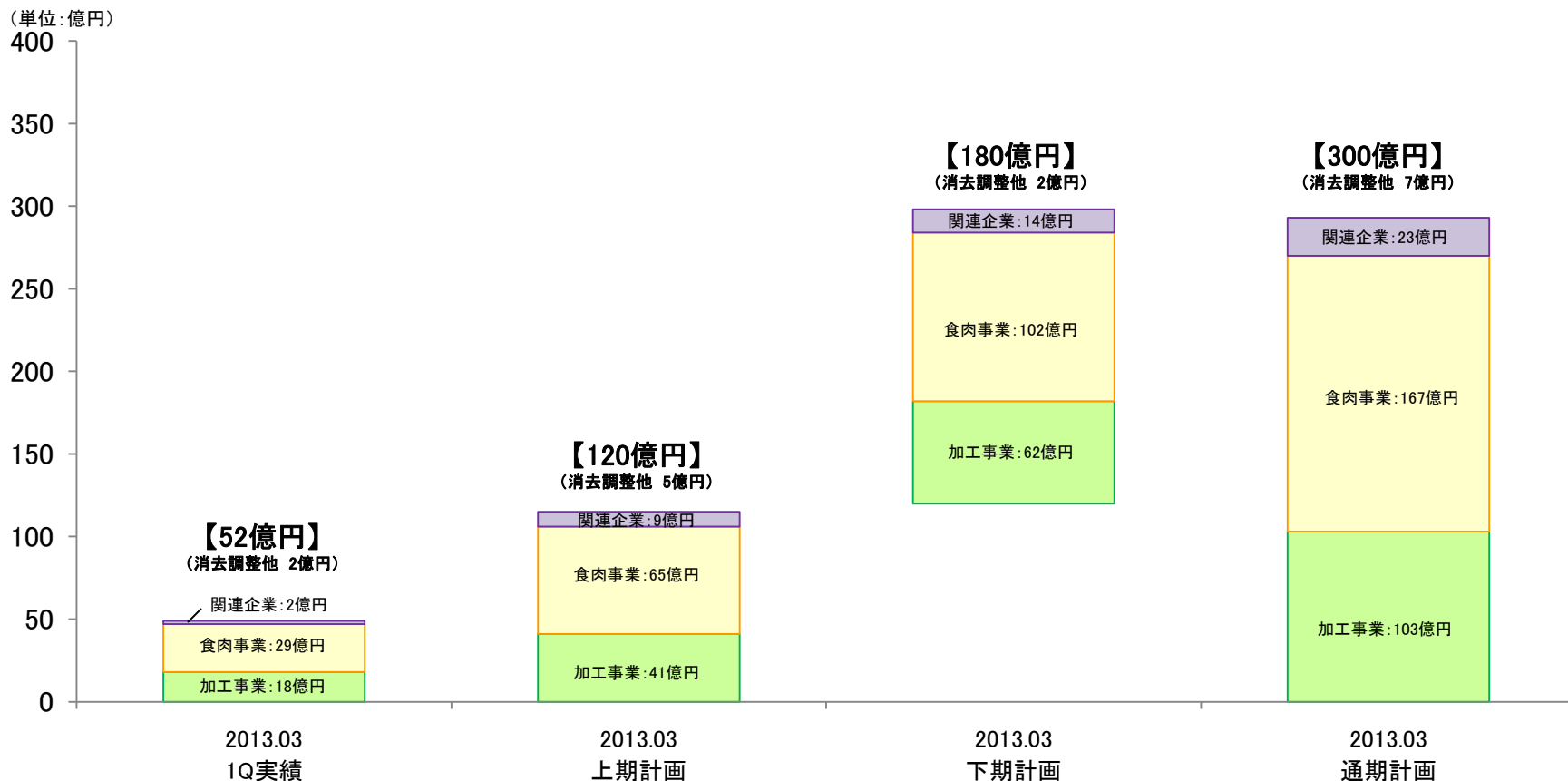
・米州事業は全体として堅調に推移しているが、今後養豚事業は飼料コストが上昇し、厳しい状況が予測される。

(アジア)

・1Qではタイの洪水影響が残ったが、現地工場は7月中旬より復旧。

Ⅱ. 2013年3月期の計画

1. 2013年3月期 営業利益計画
2. 2013年3月期計画(加工事業本部)
3. 2013年3月期計画(食肉事業本部)
4. 2013年3月期計画(関連企業本部)



	2013.03 1Q実績			2013.03 上期計画			2013.03 下期計画			2013.03 通期計画		
	2012.03 1Q実績		増減	2012.03 上期実績		増減	2012.03 下期実績		増減	2012.03 通期実績		増減
加工事業本部	11億円	18億円	7億円	24億円	41億円	+17億円	56億円	62億円	+6億円	80億円	103億円	+23億円
食肉事業本部	51億円	29億円	△21億円	87億円	65億円	△22億円	71億円	102億円	+28億円	162億円	167億円	+5億円
関連企業本部	5億円	2億円	△2億円	10億円	9億円	△1億円	9億円	14億円	+5億円	20億円	23億円	+3億円
消去調整他	0億円	2億円	1億円	△2億円	5億円	7億円	5億円	2億円	△3億円	4億円	7億円	+3億円
合計	67億円	52億円	△15億円	120億円	120億円	0億円	145億円	180億円	+35億円	265億円	300億円	+35億円

●ギフト売上拡大施策

- ・中元、歳暮ともに目標は103%(前年比、個数ベース)。
- ・中元ギフトの着地予測(前年比、個数ベース、2012/7/25時点)。
 - ・全体・・・約101%。
 - ・旗艦ブランド「美ノ国」・・・約125%

【(参考)ギフト販売個数 実績と2013年3月期販売計画】

(単位:千個)

	2012.03 実績		2013.03 計画	
	個数	前年比	個数	前年比
中元ギフト販売個数	2,003	102%	2,060	103%

●主要ブランド・新商品売上拡大施策

①ハム・ソーセージ

- ・第1Qではシャウエッセン、彩りキッチンのTVCMを展開。

②加工食品

- ・重点ブランドの他に、『和惣菜』など新カテゴリーの開発・拡大を目指す。

【(参考) 2013年3月期第1四半期 主要ブランド商品売上高伸び率(対前年同期比)】

ハム・ソーセージ	2013.03 1Q実績	加工食品	2013.03 1Q実績
シャウエッセン	102%	石窯工房群	102%
森の薫り新あらびきウインナー	94%	中華名菜群	95%
彩りキッチン(ロース)	103%	プリフライ群	93%
ロースハム群	98%	ハンバーグ・ミートボール群	115%
ベーコン群	105%	カレー群	111%

●チャネル別売上拡大施策

①コンシューマ

- ・ハム・ソーセージ、加工食品ともに、「ダントツ商品」の育成と開発によるブランド化の推進と、重点ブランド商品を中心に売上拡大を図る。

②業務用

- ・洪水の影響をうけたタイ日本フーズの復旧にあわせて、拡販を図る。

【(参考)2013年3月期第1四半期 チャネル別伸び率(対前年同期比)】

		数量	金額
ハム・ソーセージ	コンシューマ	104%	103%
	業務用	97%	95%
	合計	102%	101%
加工食品	コンシューマ	98%	98%
	業務用	94%	93%
	合計	96%	96%

●国内生産事業

①飼料価格

・とうもろこし等の穀物価格上昇により、配合飼料価格は上昇の見通し。

②国内ファーム事業

【養豚】

・豚肉相場は出荷頭数が増加しており、安値で推移する見通し。生産コスト低減効果で採算改善を図る。

【養鶏】

・供給量増が継続しており、相場は当面低調の見通し。生産性の改善等によりコスト低減を図る。

●海外事業

①豪州事業の改革

・引き続き生産性向上、経費削減等を進め、原価低減による利益率の改善を図る。

・また新商品導入等により、日本向け販売の再構築を行なう。(日本向け新商品の導入は、9月からの予定)

併せて豪州国内及びアジアへの販売を強化する。

②米州事業

・飼料価格の高騰もあり、今後養豚事業は厳しい状況。

・南米は水産事業(ウニ等)が好調に推移。

●食肉販売(フード会社)

・数量拡大によるシェアアップを図る。(第1Qの数量 前年比105%)

●水産事業の売上拡大施策

(マリンフーズ)

- ・商品開発力強化と国内自社工場製品の拡販。
- ・量販店および寿司店チャンネルへの提案営業強化による販売数量の拡大。

(宝幸)

- ・原料事業は量販店、外食チャンネルへの取り組み強化を継続。
- ・常温食品事業(缶詰)は、生産能力を増強する八戸工場製品を拡販。

【(参考) マリンフーズ(株) 自社工場製品売上高伸び率】

	2013.03 1Q実績
自社工場製品	2,101ト ^ン
対前年比	87%

【(参考) マリンフーズ(株) チャンネル別売上金額伸び率】

	対前年比
	2013.03 1Q実績
量販店チャンネル	108%
外食チャンネル	96%

●乳製品事業の売上拡大施策

(チーズ)

- ・主力チャンネルへの提案営業強化による業務用商品の販売数量拡大。
- ・商品ラインアップ強化とコンシューマ商品の拡販。

(ヨーグルト)

- ・量販店・CVSチャンネルにおけるPB商品の開発強化とドリンクヨーグルトの増産・拡販。
- ・主力のバニラヨーグルト商品群を中心とした量販店チャンネル、生協チャンネルの攻略を継続。

【(参考) 乳製品売上高伸び率】

	対前年比
	2013.03 1Q実績
チーズ	102%
ヨーグルト	125%

●主原料・副資材価格の動向

- ・チーズ原料は、産地国の生産数量が安定していることから、価格は下期より若干の下落。
- ・ヨーグルト原料の脱脂粉乳においては、国産は需給状況が厳しいことから、価格は高値で推移。輸入品は安定的に推移。

Ⅲ. 2013年3月期 第1四半期財務データ

1. 2013年3月期第1四半期連結業績概要及び通期計画
2. 連結売上区分伸び率、所在地別セグメント情報
3. 販管費、その他の営業費用、その他の収益
4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

1. 2013年3月期第1四半期連結業績概要及び通期計画

Copyright (C) 2012 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位:百万円、%)

	2012年3月期実績				2013年3月期実績及び計画					
	第1Q 実績	前年比	上期 累計実績	通期 累計実績	第1Q 実績	前年比	上期 累計計画	前年比	通期 累計計画	前年比
売上高	251,307	5.3	506,367	1,017,784	242,943	△ 3.3	515,000	1.7	1,040,000	2.2
ハム・ソーセージ	31,216	1.4	65,628	137,286	31,808	1.9	67,000	2.1	140,000	2.0
加工食品	48,873	2.7	99,980	203,167	48,673	△ 0.4	102,000	2.0	206,000	1.4
食肉	140,293	7.5	277,107	544,054	130,895	△ 6.7	280,500	1.2	557,500	2.5
牛肉	52,760	13.5	101,883	197,494	48,673	△ 7.7	102,500	0.6	203,000	2.8
豚肉	50,864	3.5	101,123	201,563	49,699	△ 2.3	103,000	1.9	205,500	2.0
鶏肉	30,745	5.3	62,009	122,873	27,792	△ 9.6	63,000	1.6	126,500	3.0
その他食肉	5,924	2.7	12,092	22,124	4,731	△ 20.1	12,000	△ 0.8	22,500	1.7
水産	18,678	△ 0.5	39,135	82,836	18,907	1.2	40,000	2.2	84,000	1.4
乳製品	5,710	7.1	11,343	23,261	6,499	13.8	12,000	5.8	25,000	7.5
その他	6,537	18.9	13,174	27,180	6,161	△ 5.8	13,500	2.5	27,500	1.2
売上原価	203,815	6.8	411,093	822,222	197,268	△ 3.2				
売上総利益	47,492	△ 0.4	95,274	195,562	45,675	△ 3.8				
売上総利益率	18.9%	-	18.8%	19.2%	18.8%	-				
販売費及び一般管理費	40,840	0.2	83,272	169,049	40,513	△ 0.8				
営業利益	6,652	△ 3.4	12,002	26,513	5,162	△ 22.4	12,000	△ 0.0	30,000	13.2
税引前利益	6,125	21.0	9,577	26,766	4,141	△ 32.4	7,200	△ 24.8	23,000	△ 14.1
当社株主帰属当期純利益	3,574	9.1	4,799	11,655	1,924	△ 46.2	3,600	△ 25.0	12,000	3.0

* 米国会計基準を組替えて表示しております。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

【連結売上区分別伸び率】

(単位: %)

区分	2012年3月期 第1四半期(対前年同期比)		2013年3月期 第1四半期(対前年同期比)	
	数量	金額	数量	金額
ハム・ソーセージ	1.1	1.4	4.1	1.9
加工食品	3.3	2.7	△ 0.4	△ 0.4
食肉	0.7	7.5	1.7	△ 6.7
牛肉	13.1	13.5	△ 11.5	△ 7.7
豚肉	0.4	3.5	2.8	△ 2.3
鶏肉	△ 8.5	5.3	13.6	△ 9.6
その他食肉	0.8	2.7	△ 9.8	△ 20.1

【所在地別セグメント状況】

(単位: 百万円、%)

	2012年3月期実績			2013年3月期実績及び計画					
	第1Q 実績	上期 累計実績	通期 累計実績	第1Q 実績	前年比	上期 累計計画	前年比	通期 累計計画	前年比
国内売上高	230,046	464,720	939,524	225,261	△ 2.1	472,500	1.7	960,000	2.2
外部顧客売上高	229,751	464,279	938,846	225,119	△ 2.0	472,000	1.7	959,000	2.1
セグメント間内部売上高	295	441	678	142	△ 51.9	500	13.4	1,000	47.5
国内営業利益	7,020	12,746	27,404	5,517	△ 21.4	11,700	△ 8.2	29,000	5.8
国内売上高営業利益率	3.1%	2.7%	2.9%	2.4%	-	2.5%	-	3.0%	-
海外売上高	42,918	85,896	157,721	36,617	△ 14.7	87,500	1.9	161,000	2.1
外部顧客売上高	21,556	42,088	78,938	17,824	△ 17.3	43,000	2.2	81,000	2.6
セグメント間内部売上高	21,362	43,808	78,783	18,793	△ 12.0	44,500	1.6	80,000	1.5
海外営業利益	△ 589	△ 894	△ 1,397	△ 216	-	300	-	1,000	-
海外売上高営業利益率	△ 1.4%	△ 1.0%	△ 0.9%	△ 0.6%	-	0.3%	-	0.6%	-

* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

3. 販管費、その他の営業費用及び収益、その他の収益及び費用

Copyright (C) 2012 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円、%)

	2012年3月期 第1四半期実績	第1四半期実績	2013年3月期	
			対前年増減率	対前年増減額
★① <<販管費>>				
販売費および一般管理費	40,840	40,513	△ 0.8	△ 327
人件費	16,762	16,539	△ 1.3	△ 223
★② 広告宣伝費	2,487	2,462	△ 1.0	△ 25
★③ 物流費	9,289	9,526	2.6	237
その他	12,302	11,986	△ 2.6	△ 316

主な増減要因

- ★① 販管費 売上高販管比率は 16.3% から 16.7% へと 0.4ポイント上昇。
- ★② 広告宣伝費 昨年と比較し、ほぼ横ばい。
- ★③ 物流費 売上数量拡大により運賃は約2億円増加。

(単位: 百万円、%)

	2012年3月期 第1四半期実績	第1四半期実績	2013年3月期	
			対前年増減率	対前年増減額
その他の営業費用及び(△収益)-純額	329	△ 139	-	△ 468
固定資産減損損失	391	-	-	△ 391
特別退職金	14	-	-	△ 14
その他	△ 76	△ 139	-	△ 63
★① その他の収益及び(△費用)-純額	294	△ 753	-	△ 1,047
受取利息・配当金	319	362	13.5	43
有価証券評価損・売却損益	△ 40	△ 77	-	△ 37
為替差損益	24	△ 1,039	-	△ 1,063
その他	△ 9	1	-	10
支払利息	492	407	△ 17.3	△ 85

主な増減要因

- ★① その他の収益及び(△費用)-純額 為替差損等で、約10億円の減少。

4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

Copyright (C) 2012 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円、%)

	2012年3月期 期末実績	2013年3月期 第1四半期実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
★① <<連結貸借対照表>> 資産合計	589,125	594,177	0.9	5,052
現金及び現金同等物	63,651	34,188	△ 46.3	△ 29,463
★② 売上債権	119,959	122,589	2.2	2,630
★③ 棚卸資産	112,516	126,065	12.0	13,549
有形固定資産	213,663	212,828	△ 0.4	△ 835
投資及びその他の資産	28,889	27,943	△ 3.3	△ 946
長期繰延税金資産	13,368	13,752	2.9	384
負債合計	296,857	304,137	2.5	7,280
支払手形及び買掛金	96,822	102,502	5.9	5,680
★④ 有利子負債	139,187	136,430	△ 2.0	△ 2,757
退職金及び年金債務	17,170	16,811	△ 2.1	△ 359
当社株主資本	290,020	287,733	△ 0.8	△ 2,287
非支配持分	2,248	2,307	2.6	59
資本合計	292,268	290,040	△ 0.8	△ 2,228

主な増減要因

- ★① 資産合計
- ★② 売上債権
- ★③ 棚卸資産
- ★④ 有利子負債

②③を含めて約50億円の増加。
 売上増により前期末比、約26億円の増加。
 主に食肉の増加により前期末比、約135億円の増加。
 借入金の返済等により約28億円の減少。

(単位: 百万円、%)

<<設備投資額、減価償却費>>	2012年3月期	2013年3月期		2013年3月期
	第1四半期実績	第1四半期実績	対前年増減率	対前年増減額
設備投資額	2,597	4,745	82.7	2,148
生産設備	1,276	1,693	32.7	417
販売・物流設備	346	649	87.6	303
ファーム・処理設備	483	1,200	148.4	717
海外事業設備	272	713	162.1	441
その他設備	220	490	122.7	270
減価償却費	5,792	4,716	△ 18.6	△ 1,076
				通期計画
				43,000
				12,600
				12,700
				8,100
				4,800
				4,800

お問合せ先

〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1

ThinkPark Tower 14階

日本ハム株式会社 広報IR部

電話：03-4555-8024

FAX：03-4555-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。

これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。

また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。

従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。

また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。